いわみざわ市

緑の相談コーナーだより

室内公園 色彩館 SHIKISAIKAN
岩見沢市志文町７９４
No.461
2023年11月 1日発行

いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

シクラメンについて

色とりどりの花が華やかに咲く姿にはほっとするような暖かさと美しさがあります。日本でシクラメンの園芸品種の生産が始まったのは大正時代、そこから令和の今に至ります。シクラメンは、れっきとした冬の花。意外に寒さに強く日の光りを好みます。そして葉や球根に水分を蓄えることができるため、水切れにも強く開花中は肥料もそれほど欲しがりません。シクラメンには原種が 20 品種ほどあります。園芸品種と原種シクラメンの違いを楽しむ事も出来ます。病気が出ていない株を購入することが大前提、置き場所は室内のレースのカーテン越しなどが適切です。シクラメンの魅力は豊富な花色と花型です冬場に向かう時期から春先迄長く楽しめるのも魅力的です。（たかはし）

人参の生い立ち

ニンジンは中央アジアの原産で、西洋系ニンジンの原産地は小アジア、東洋系ニンジンの原産地は中央アジアともいわれています。原産地のアフガニスタン周辺で東西に分岐したともいわれ、世界各地に伝播しました。国内で生産されている人参は殆どが西洋種の一年草でヨーロッパからオランダ、イギリス、中国を経由して 17 世紀頃伝わったと言われています。現在日本で流通しているオレンジ色の西洋ニンジンにもいくつかの種類があり、私たちが普段食べているニンジンは「五寸ニンジン」と言います。その名の通り五寸（ 約 15cm）サイズのニンジンです。では、東洋種とはどのようなものなのでしょうか？ 13 世紀に中国に広まり 16 世紀末から 17 世紀に日本に伝わった東ルートの東洋種です。色は赤、白、黄、紫など多彩で細長いことが特徴で、西洋種が一般的となった後は、赤い色の金時ニンジンなど、一部のニンジンしか東洋種は残っていません。西洋種に比べ栽培しにくいことがネックになったことが原因と言われています。人参の旬は春となっていますが、北海道では秋ですが、我が家では９月末に種を播き、そのまま雪の下で越冬させて、春雪解けから１か月位育成してから収穫していました。西洋系は、現在の日本で主流の人参で北海道が総生産量の８割以上を占めています。（ながやす）

今月の便り

バラ園の芝生の虫

いわみざわバラ園は約４万平方メートル。その中で隣のパークゴルフ場にも繋がっている芝生が占める面積は広大です。秋のローズフェスタの後半、その芝生にたくさんのカラスが来て芝生をつつくようになりました。虫を食べているのです。今年は夏の高温のせいか芝に発生するスジキリヨトウやそれより小さなシバツトガが大発生したようです。9 月後半から 10 月はじめ、日差しのある日中、芝生横の園路のタイルやコンクリートの上をたくさんの小さな芋虫がちょこちょこと歩く姿が見られました。虫や鳥と上手く付き合うにしても大量発生されるとどこの公園も芝の緑を保つことに頭を悩ませていると思います。。ケンタッキーブルーグラスをはじめ何種類かのイネ科で構成された広大な芝地とは人間の作り上げた特別な風景です。それを維持するには季節や芝の状態に合わせてこまめな管理が必要なのです。（きのした）

＊「今月の便り」 次ページへつづく⇒

フユノハナワラビ

フユノハナワラビは、夏場休眠するシダの仲間で、秋にワラビのような葉を低く開き、冬には花穂のような胞子葉が伸びることからつけられた名です。夏場は休眠し、秋から春にかけて生長するので、成長期は良く日が当たり、夏場は木の陰や他の植物の陰になるような場所に生えます。北海道に多く生えるエゾハナノワラビは全体に大型で葉柄に毛が多いことが異なるとされますが北海道だけでなく本州中部以北、関西、四国にもあります。光合成を行うための栄養葉という葉と、胞子を付けて散布するための胞子葉という 2 種類の葉をそれぞれ 1 枚ずつ付けますが、栄養葉は秋から翌春まで地面すれすれの位置に葉を開き、胞子葉は晩秋から冬にかけて成長して高さ 15 ～ 30cm 程度になります。胞子葉の姿があたかも花が咲いたように見えるのでハナワラビの名がついたそうです。ちなみに本種の仲間には夏に胞子葉が出現する「ナツノハナワラビ」もあります。（いとう）

ひこばえ対策を済ませておく

冬囲いの前に片付けておきたいひとつに、株立ち樹木、ブルーベリーやハスカップなどの小果樹のひこばえを地際からカットする作業があります。ただし今まであった幹枝のひとつが古くなり、花付き・実付きが悪くなったときは、これの代替えとして残します。また果樹など接ぎ木苗のひこばえは、台木から発生していることを確認し、無条件で取り除きましょう。よくある事例として、何らかの原因で本体が枯れ、台木から出たひこばえを知らずに育て、失敗することがあるので気をつけましょう。なお、どうしてよいのか判断できないときは、まだ葉のついている実物の写真を用意して、相談コーナーまでお尋ね下さい（かわはら）

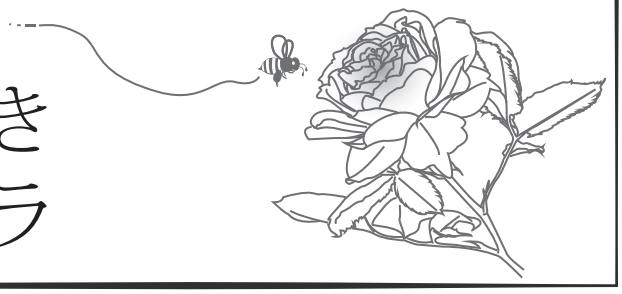
【室内公園「色彩館」からのお願い】当館では植物の引き取りを一切行っておりません。あらかじめご了承くださいませ。処分してしまうのが心痛いのであれば、そうならないように樹形や樹高、特性などを考え計画的かつ責任を持って購入・栽培してください。育て方で分からないことは、当館の緑の相談コーナーへお気軽にお問い合わせください。

緑の相談コーナー　Q＆A

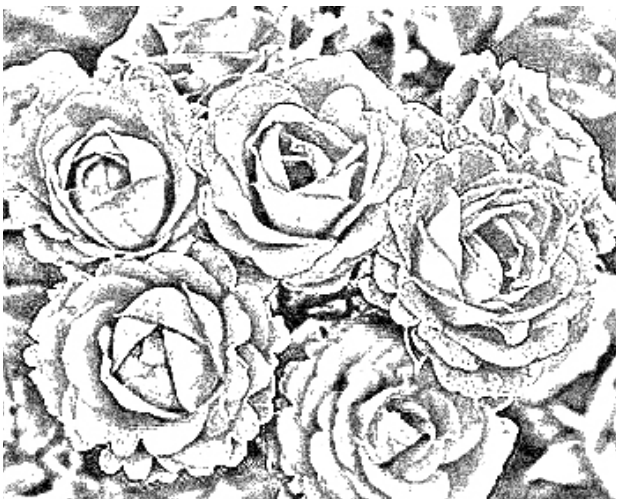
庭菜園に関する「Q＆A」を連載で紹介しています。

Q．大根が二股になるのですがどうしてですか。
A．硬い土壌　種をまくときに畑の土が硬かったり石などが入っていると二股になる原因となります。大根は始め細くのびていき、後から太くなりながら伸びていきますがこの過程で土が硬かったり石などが入っていると二股になる可能性があります。真直ぐで肌色のいい大根を作るには、畑の中の石や枯れ枝、土の塊など硬いものを取り除きま
しょう。大根は、20 ～ 30ｃｍ伸びるので土中の障害物は出来るだけ取り除きましょう。
大根の種は３年の寿命ですが、古い種は出来るだけ使わないようにしましょう。股根の原因になる可能性もあります。余った種はとっておかず、畑の隅にバラマキをして、若いうちにすぐりながら葉物野菜として収穫するのも一案です。

ひとつき ひとバラ



文：曽　根　浩　太
（いわみざわ公園バラ園）



第百七回

フロリバンダ ローズ

岳の夢

Gaku no Yume
作出国：ドイツ
作出者：Kordes
作出年：2011 年
ハーディネスゾーン：不明
繰り返し咲き
交配：名無しの実生 × 名無しの実生

秋バラも終わり、これからいよいよ雪囲いの季節になりますね。皆さま、準備はよろしいでしょうか。気合い入れて頑張りましょう！

今回は遅くまで繰り返し咲く、ドイツコルデス社作出、岳の夢についてご説明いたします。

花はストロベリーレッド＆ホワイトと表記されていることが多いですね。赤の花びらで裏弁が白という配色です。フロリバンダなので中輪に分類されますが小ぶりな中輪といったところでしょうか。本当に良く房で咲き、常に花に覆われているような感じがします。赤の裏弁白というとラブという品種も当園にはありますが、ラブは割とすぐ開ききり、美しい花形を保つことが出来ないのですが、こちらは花が開ききることがなく、花の終わりも分からないくらいなので、私が見てきたバラの中でも圧倒的に花保ちがいいです。高さは 1.2m程度になるとありますが、もう少し大きくなる印象です。フロリバンダなので鉛筆程度の太さで剪定するといいのですが、この品種に関してはあまり意識せず剪定してもかなり花が咲くと思います。このバラは以前テストガーデンに植栽していたこともあり、その時は無施肥、無農薬、枝折れ防止のみの囲いという過酷な条件で 3 年間過ごしても大きく生育し、秋最後まで葉をしっかりとつけていたという実績があります。芳香があまりないのが少し残念ではありますが、耐病性・耐寒性に関しては当園が自信を持って太鼓判を押せる品種になります。

作出はドイツですが、名前は漢字というのは少し変な感じがするかもしれません。このバラはドラマ「風のガーデン」を手掛けた脚本家の倉本聰が名づけ、ドラマのヒロインの弟、岳の名前がつけられたバラです。

コルデス社のノーマン・コルデス氏曰く、「素晴らしいドラマに捧げるバラに相応しく、大変優れたバラです。花が美しいというだけでなく、丈夫で非常に育てやすいです。ヨーロッパでさまざまな賞を受賞しており、それが証明されています。」とのことです。

まさに言葉通りで、様々な環境に適応できる強健性は素晴らしく、受賞した賞の中には強健なバラに贈られるドイツの ADR 賞もあります。

初心者の方でもしっかりと花が咲き、病気にかからず越冬できると思うくらいおすすめなので、ドラマのファンの方は是非育ててみていただけたらと思います。

クリスマス オカリナコンサート

12/10 (日) 14:00 開演

場　所：いわみざわ公園バラ園内　室内公園「色彩館」　大温室

入園料：高校生以上　100円　小中学生　50円

※幼児無料

※障がい者手帳ご提示で ご本人様と付添人様１名無料

今月の市民園芸講座のご案内

●11 月 12 日（日） 13:00~15:00　多肉植物の寄せ植えをしよう
材料費：2,200 円　定員：20 名
講師：椿 豊さん　Ｇｒｅｅｎ　Ａｒｔ　百々屋

●11 月 25 日（土） 13:00~15:00・26 日（日）10:00 ～ 12:00
ローズヒップでクリスマスリースをつくろう
材料費：1,500 円　定員：各日 10 名　講師：バラ園スタッフ

～ 12 月 1 日　9：00 から受付開始～
●12 月 17 日（日） 10:00~12:00　折り紙でバラをつくろう　初級
料金：無料　定員：15 名　講師：バラ園スタッフ

●12 月 28 日（木） 10:00~12:00　新春を迎える華やかアレンジメント
料金：3,000 円（容器込み）　定員：40 名
講師：秋元 千秋さん　フラワーデザイナー

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。
電話 :0126-25-6111　ホームページ :https://iwamizawa-park.com/
※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。
連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日３～４日位前までにお申込みをお願いいたします。
※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。

編集・発行　空知リゾートシティ株式会社 (いわみざわ公園バラ園指定管理者)
お問合わせ　いわみざわ公園バラ園　室内公園「色彩館」 0126-25-6111